

# LIBRARY



入学・進級おめでとうございます。桜の季節は終わりましたが、新緑の美しい季節は、瑞々しさを感じます。フレッシュな76回生がさらに、学校に新しい風を吹き込んでくれることでしょう。

## 『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂冬馬著 早川書房 2022



ロシアによるウクライナ侵攻という現実が、この本の売り上げを押し上げているらしいが、それを差し引いても、読む価値のある本です。物語の舞台は、独ソ戦争。1942年、モスクワ近郊の農村に住む少女セラフィマは、ドイツ軍に村を襲われ、村人もたった一人の肉親である母も惨殺される。セラフィマを救ったのは、ロシア兵士イリーナ。彼女のもとで、スナイパーとしての訓練を始めるのだが…。タイトルに秘められた重い真実。敵とは誰なのか…。

## 『香君 上・下』 上橋菜穂子著 朝日新聞出版 2022



上橋菜穂子さん待望の長編小説。初代〈香君〉がもたらした奇跡の稲〈オアレ稲〉によって、近隣諸国を牛耳り、繁栄を極めてきたウマール帝国。その属国の藩主の孫アイシャがこの物語の主人公。彼女は人並み外れた嗅覚で、植物や昆虫たちの香のコミュニケーションを感じ取ることができた。ある時祖父が失脚し、アイシャはウマール帝国を庇護する当代〈香君〉のもとで働くことになる。時を同じくして、不思議な害虫が大発生、オアレ稲に頼りきっていたウマール王国の人々は、すさまじい飢饉に襲われる。アイシャは、この危機を乗り越えるべく、害虫発生謎に立ち向かうが…。

## 『はじめての』 島本理生・辻村深月・宮部みゆき・森絵都



日本を代表する4人の直木賞作家と、YOASOBIのコラボレーション！最新号のAERAに、特集記事がありました。著者のおひとり森絵都さんと、YOASOBIの二人が対談をしています。(只今図書館に掲示しています。) この企画は、「はじめて」をテーマに書かれた4つの小説をYOASOBIが、楽曲化するというもの。(すでに島本さんの作品は発表済み。) 森絵都さんは、作品が楽曲化されると告げられ、テンションが上がり、あっという間に書けたという。こんなことは20年まえの『カラフル』以来とか。

## 『ハムネット』 M・オファール著 小竹由美子訳 新潮社



シェイクスピアという名前だけは、かなりの中学生も知っているのでは？『ロミオとジュリエット』や『ハムレット』も聞いたことがありますか？これは、シェイクスピアの妻にスポットをあて、紡ぎ出された極上の物語。もちろん、想像の域を出ないのですが、著者は歴史的には、彼女が年下のシェイクスピアに結婚を迫り、晩年は夫にあまり顧みられなかったかのように扱われていることに納得できず、丁寧に史実を調べ作り上げた物語なのです。シェイクスピアには11歳で亡くなったハムネットという息子がいて、その2年後に名作『ハムレット』が書かれたことは紛れもない真実。海外文学を読むことが好きなら、ぜひ読んでみて。そしてシェイクスピアの作品にも手を伸ばしてみたいです。

## 『10才からのAI入門』 森川幸人著・イラスト ジェムハウス



AIという言葉を知ったことのない中学生は、もういないでしょう。こういうタイトルの本が出るということは、そのうちAIを一番理解しているのは10代ということになるかも！書評を見る限り、好評です。「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをおもしろく」という井上ひさし氏の名言があるのですが、まさにこれはそういう一冊だとありました。AIの今後に興味があるならぜひ手に取ってみて！

## 『心はどこへ消えた？』 東畑開人著 文藝春秋 2021



この本について語るのには難しい…。心理学者の著者は、コロナ禍のなか週刊誌で連載を担当した。タイトルは「心はつらいよ」。しかしコロナ禍でのネタは連載5回にして尽き、こころにまつわるなにがしかをひねりだしているうちに、気が付いたのは、いつのまにか心が消えていたこと。2000年代以降「心」の時代は去り、時間のかかるカウンセリングは敬遠されがち。が、著者は思う。コロナ禍のような大きな物語の前には、私たちひとりひとりの小さな物語はかき消される。しかし、こころはその小さな物語にしか存在しないのではないか。小さな物語に耳を傾けてみれば…。

## 『少年のための少年法入門』 山下敏雅 著 旬報社 2022



著者の山下さんは、子どものための法律なのに、当の子どもたちに知らされていないことに問題意識を持っていて、「子どもの法律」を解説するブログを2012年から立ち上げました。それが編集者の目に留まり、今回まさに少年少女に向けて、できるだけわかりやすく書かれたのが、この本。中学時代にこの本を手にするような境遇なら、安易に非行に走らないのでは…と思います。非行少年が生まれながらに特別なわけではなく、生育環境が不遇だった。だとしたら、社会はその責任を果たすべきでは。

## 『顔の大研究』 原島博他監修 丸善出版 2020



この本は、2020年の12月の出版のため、エピローグに、「アフターコロナにおける顔とは？」という監修者の書かれた文章が載っています。2022年4月現在、日本人はマスク姿ですが、おそらくコロナ禍が終息しても、私たちの多くがマスクを手放さない可能性は大だと。マスクで顔を隠すことの快適さを手にした部分も無きにしても非ず…だからです。一方で、顔を隠すことに慣れてしまうと、生の顔を見ることが恥ずかしくなってくる。特に一度も見せたことのない人に対しては。親しい人にしか顔は見せない…そんな時代が来るのか？！

## 『すべてがわかる日本アニメ史入門 1956-2021』 彩流社



2019年の日本のアニメの世界市場での総額は2兆5112億円。これは、8年連続の更新。特に海外分野の売上高は全体の47.8%。前年比119%という伸び。コロナ禍でイベントが思うようにできなかったとはいえ、動画配信サービスは好調。日本を好きになったのは日本のアニメや漫画がきっかけという海外の人の多さよ！ひょっとして原語（日本語）で味わいたいと日本語ブームも来るかしら？

4月に入った本の一部です。リクエストは常時受け付けています。

No.	請求	書名 I	著者名 I	出版者	出版年
038250	146H	心はどこへ消えた?	東畑開人 著	文藝春秋	2021/09
038220	2890	数学する人生	岡潔	新潮社	2019/04
038236	327Y	少年のための少年法入門	山下敏雅 監修	旬報社	2022/03
038114	383K	平安男子の元気な!生活	川村裕子 著	岩波書店	2021/02
038095	383M	日本人の住まい	E. S. モース	ハ坂書房	2021/07
038188	493H	10代から知っておきたいシリーズ	仁王進太郎 監修	保育社	2022/01
038225	498T	健康は住まいがつくる	田中正敏	彰国社	2018/10
038226	520J	住環境再考	住総研	萌文社	2016/04
038224	521M	和室学	松村秀一	平凡社	2020/10
038222	525T	建築計画	竹宮健司 編著	朝倉書店	2022/04
038241	702M	家をせおって歩く	村上慧	福音館書店	2019/03
038195	837K	ある晴れた夏の朝	小手鞠るい 著	偕成社	2021/08
038213	9100	太宰萌え	岡崎武志 監修	毎日新聞社	2009/10
038243	911M	中学生に贈りたい心の詩 40	水内喜久雄 編著	PHP 研究所	2013/10
038211	913	給食アンサンブル	如月かずさ	光村図書出版	2018/09
038207	913	骸骨を喰う 上下	雪乃紗衣	KADOKAWA	2016/02
038204	913	模倣犯	宮部みゆき 著	新潮社	2006/01
038193	913A	死にたがりの君に贈る物語	綾崎隼 著	ポプラ社	2021/05
038214	913A	六人の嘘つきな大学生	浅倉秋成	KADOKAWA	2021/03
038247	913A1	この素晴らしい世界に爆焰を!1~3	暁なつめ	KADOKAWA	2014/07
038200	913A2	invert	相沢沙呼	講談社	2021/07
038244	913Ho	言葉の園のお菓子番	ほしおさなえ	大和書房	2021/03
038216	913I	スモールワールドズ = SMALL WORLDS	一穂ミチ 著	講談社	2021/04
038209	913I3	兇人邸の殺人	今村昌弘 著	東京創元社	2021/07
038212	913Ka	リョウ&ナオ	川端裕人 著	光村図書出版	2013/09
038238	913Ni	きいろいゾウ	西加奈子 著	小学館	2008/03
038069	913Su	身もこがれつつ	周防柳 著	中央公論新社	2021/07
038217	913U1	香君 上下	上橋菜穂子 著	文藝春秋	2022/03
038154	913Ya	美しい距離	山崎ナオコーラ	文藝春秋	2020/01
038206	913Yu1	骸骨を喰う	雪乃紗衣	KADOKAWA	2016/02
038239	9140	ことばの果実	長田弘 著	潮出版社	2021/12
038237	914W	だんまり、つぶやき、語らい	鷲田清一 著	講談社	2021/10
038233	933G	どこまでも亀	J・グリーン 作	岩波書店	2019/04
038215	933I	クララとお日さま	カズオ・イシグロ	早川書房	2021/03
038210	933L2	サムデイ	D・レヴィサン	小峰書店	2022/03
038208	Eア	あんなにあんなに	ヨシタケシンスケ	ポプラ社	2021/06

【図書委員会より】

あすからGW。新図書委員会も、来月から本格的に始動します。

図書委員長 久木元さんから：今年の活動目標は「本家本元」です（この意味は、生徒総会でお話します）。コロナが落ち着いてきたので、今まで以上に皆さんと本を結ぶような活動をたくさんしていきたいです！

今週いっぱい、皆さんからの希望を募ったCDですが、5/6に希望を調整し、5/9の週からお渡しできるようにしますので、少々お待ちください。また、古いCDは状態の良くないものもあるかもしれません。雑音など入って、もし聴けなかったらごめんなさい。

こんなことやってます！



76回生 オリエンテーション

76回生、最初の国語の授業は、図書館のオリエンテーションでした。図書館の使い方や使う意義がわかってもらえたかな？何より皆さん、自分のために大いに使ってください。



75回生・76回生にはOPACの案内



ことしは、ひとり一台の端末を使うことも増えそうなので、どこからでも検索できる世の中OPACの話をするために、教室まで出向きました。昨年から使えるようになっていたのですが、2年生のクラスで聞いてみたら、OPACを常時利用しているのは、ごく少数でした。ぜひ上手に活用してみてください。



GAKUMOPACでは、東京学芸大学の大学図書館・附属学校図書館の蔵書が検索できます。特定のテーマやキーワードで本を探すときに便利です。



電子図書館の蔵書を読んだことがあると答えてくれた2年生はとても少なかったです。日頃図書館を使っている人は、わざわざ電子で読まないのかもしれないし、もともと本をあまり読まない人は、電子図書館すら見ていないかもしれません。今年は、授業で使えることも視野に入れて選書したいと思います。

めざすはハイブリッド図書館？！